

はなわ 議会だより

2025
No.171

発行／福島県塙町議会
令和7年7月18日



みんなで楽しく水遊び！

はなわこども園幼稚部 フール開き

6 月定例会

特別委員会の最終報告 …… P 2 ～ 3
町政を問う（一般質問）…… P 5 ～ 10
追跡レポート …… P 11
議会だよりモニターを委嘱 …… P 15



塙町議会ホームページ
QR



塙町議会フェイスブック
QR



塙町議会X
（旧ツイッター）
QR

特別委員会。の最終報告

埴町議会基本条例検証調査特別委員会



モデル世帯から見る国保税負担

夫(63歳) 妻(60歳) 2人家族
世帯収入 370万円 世帯所得 180万円

税額	令和7年度	令和6年度	比較
	260,932円	230,739円	30,193円増

※質疑はありませんでした。国保税の改定を掲載します。

質疑(条例)

審議結果一覧No. 3 p 4

Q 行旅死亡人負担金が発生しているが、何名の方がいたのか。こういう事例は時々あるのか。
A (健康福祉課長) 昨年度1名。いわゆる独居老人などの高齢者が増えているので、今後増える可能性はある。

Q 水質汚染事故、施設の事故、停電、管路事故、給水装置凍結事故など通常の場合ではない事態を想定している。
A (生活環境課長) 水道幅員4m、最大で全幅7mの拡幅を予定している。

審議結果一覧No. 4 p 4

Q その他非常の場合とはどのような事態を想定しているのか。
A (まち整備課長) 町道北野松岡線交差点の一時停止において左右が見づらい。今回の工事での安全対策はどうなっているか。

Q 町道北野松岡線交差点の一時停止において左右が見づらい。今回の工事での安全対策はどうなっているか。
A (まち整備課長) 現在は塙棚倉線が優先道路として北野松岡線上で一時停止になっているが、開通後は北野松岡線が優先道路となり塙棚倉線上で一時停止となる。安全対策については、今後施工の中で検討していく。

質疑(契約の締結)

審議結果一覧No. 7 p 4

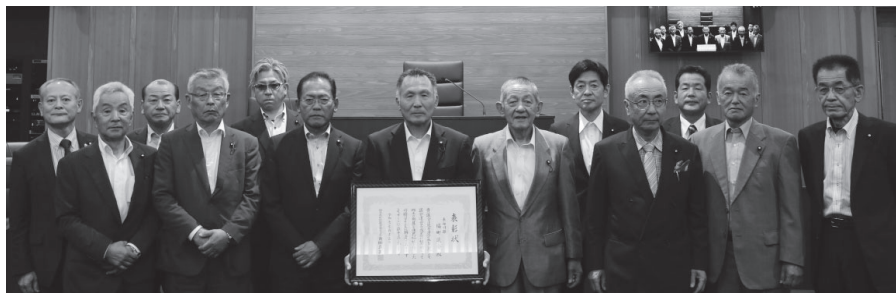
Q 排水対策はどのようになっているか。
A (まち整備課長) その点も考慮して設計を行っている。ところどころ横断排水を設計でみている。

Q 排水対策はどのようになっているか。
A (まち整備課長) その点も考慮して設計を行っている。ところどころ横断排水を設計でみている。

福島県町村議会議長会表彰を受賞

令和7年6月5日開催の福島県町村議会議長会定期総会において、埴町議会が議会運営の改善に努め、郷土の発展と住民福祉を増進した優良町村議会として表彰され、6月定例会初日に議場で表彰報告が行われました。

埴町議会は、今後とも町民の付託に応え、町民の豊かで幸せな暮らしの実現に取り組んでまいります。



埴町議会基本条例検証調査 特別委員会最終報告

検証結果
今回の検証では条文について修正等の必要はないとしました。しかし、「議員は、町予算の執行対象の団体の長に就任しないよう努めること」として条例の基本的な考え方に記載しました。また、社会全体においてデジタル化が進んでいるため、「デジタル技術の活用について継続的に検討していく」ことも条例の基本的な考え方に記載しました。

委員会開催日数
7日

本条例が平成27年4月1日に施行されてから9年が経過する中で、町議会を取り巻く状況も変化し、地方議会にも新たな取組が求められることから、検証する必要があるため。

設置趣旨

オザバー…鈴木孝則

副委員長…堀江祐司

委員…藤田一男、吉田克則、青砥與藏、吉村守広



委員長
菊地哲也

一般会計3279万円を
補正増額

6月

のし
会
例
定
あ
ら
ま

【主なもの】

◆全国瞬時警報システム更改業務委託料 616万円

◆全国瞬時警報システム(アラート)の新型受信機を整備する。

◆常豊地区水路改修工事費 100万円

◆西河内地区内の水路補修を行う。県補助金割当が増額したことへの対応。

◆法面排水路補修工事費 2500万円

林間工業団地の法面排水路の補修を行う。当初想定よりも被災状況が拡大し、工事費の増額が見込まれることへの対応。

質疑(専決処分)

審議結果一覧No. 1 p 4

Q 特別交付税の交付決定時期・内容について伺う。併せて財政調整基金積立金への積立根拠を伺う。
A (総務課長) 交付決定日は令和7年3月21日。内容は、普通交付税に算定されな

かった特別な財政需要等に対し交付されるもので、埴町においては地域活性化起業人制度などが交付対象となっている。積立根拠は、歳入の確定に合わせて子ども基金に1000万円積立し、令和6年度の予算執行において財政調整基金からの取り崩しをして



一般質問

町政を問う

P5



かなざわ たらう
金澤 太郎議員

- ・ 高校生の経済的負担支援
- ・ 下水処理施設の将来展望

P6



ほりえ ゆうじ
堀江 祐司議員

- ・ E V 施設(充電器)設置
- ・ 一般家庭貯水タンク(雨水タンク)補助
- ・ 消防屯所の環境整備
- ・ 地元企業の人手不足
- ・ 中学校通学路危険箇所
- ・ 埴町の歴史を踏まえ町おこしの考え
- ・ チャットG P T 関連
- ・ 入学祝い金(就学)

P7



よしだ かつのり
吉田 克則議員

- ・ 教育行政
- ・ 山林荒廃対策
- ・ 不動産相続登記義務化に関する町の対応

P8



きくち てつや
菊地 哲也議員

- ・ 埴放課後児童クラブ利用児童対象制限
- ・ 埴町妊婦にやさしい遠方出産支援事業
- ・ 地元企業と町との連携
- ・ 埴工高跡地利用

P9



ななみや ひろき
七宮 広樹議員

- ・ 町の防災力
- ・ 県立白河実業高等学校埴校舎跡地
- ・ 町内の道路状況
- ・ ふるさと納税

一般質問とは

議員が町長などに対し、行政全般にわたる事務の執行状況や将来の方針等を確認するものです。議会だよりに掲載している一般質問は、質問登壇議員自らが原稿を作成しています。

※本紙にはまとめられない素晴らしい内容、答弁があります。是非、埴町議会中継動画を、ご覧ください。

一般質問用
QRコード



スマートフォンなどお持ちの方で、専用アプリでQRコードを読み取ると録画映像がご覧いただけます。

議案等の審議結果一覧表

No.1	承認第1号	専決処分(専決第2号)	原案可決
No.2	議案第24号	埴町税条例の一部を改正する条例の制定 軽自動車税種別割のうち二輪車の車両区分の見直しや特定親族特別控除の新設、加熱式たばこの課税方式の見直しに伴う改正。	原案可決
No.3	議案第25号	埴町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定 令和7年度国民健康保険税を賦課するため、必要額から税を算定するに際し、按分率の改正が必要となることにより、条例の一部を改正。さらに、地方税法施行令改正に伴い、課税限度額および軽減措置に係る軽減判定所得の基準額等の改正。	原案可決
No.4	議案第26号	埴町上水道事業給水条例の一部を改正する条例の制定 災害その他非常の場合にあって、地元の給水装置工事業者の確保が困難となると判断されるときに、宅内配管を早期復旧するとともに、給水装置工事の適正な実施を図るため、他市町村の水道事業者が指定した給水装置工事業者による給水装置工事の実施を可能とするための改正。	原案可決
No.5	議案第27号	埴町下水道条例の一部を改正する条例の制定 漢数字表示から算用数字に表示統一するための改正。さらに、災害その他非常の場合にあって、地元の排水設備工事指定業者の確保が困難となると判断されるときは、排水設備等の工事が円滑に実施されるよう、他市町村の管理者が指定した排水設備工事業者による排水設備工事の実施を可能とするための改正。	原案可決
No.6	議案第28号	埴町農業集落排水事業排水処理条例の一部を改正する条例の制定 災害その他非常の場合にあって、地元の排水設備工事指定業者の確保が困難となると判断されるときは、排水設備等の工事が円滑に実施されるよう、他市町村の管理者が指定した排水設備工事業者による排水設備工事の実施を可能とするための改正。	原案可決
No.7	議案第29号	工事請負契約の締結 町道北野松岡線道路改良工事(3工区)について議会の議決を求めるもの。契約の方法は条件付一般競争入札で、契約の金額は5150万2千円。 契約の相手方は深谷建設株式会社 代表取締役 深谷 昌平。	原案可決
No.8	議案第30号	工事請負契約の締結 町道埴若宮線道路改良工事(桜木町工区)について議会の議決を求めるもの。契約の方法は条件付一般競争入札で、契約の金額は5500万円。 契約の相手方は深谷建設株式会社 代表取締役 深谷 昌平。	原案可決
No.9	議案第31号	令和7年度埴町一般会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ3279万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ65億4029万円とするもの。	原案可決
No.10	議案第32号	令和7年度埴町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 歳入歳出それぞれ1658万円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ9億2666万円とするもの。	報告
No.11	報告第1号	令和6年度埴町予算繰越明許費繰越計算書 一般会計の地域情報通信施設維持管理事業ほか9事業について、繰越限度額5億8294万円のうち5億229万円を令和7年度に繰り越して執行することを議会へ報告するもの。	報告
No.12	報告第2号	令和6年度埴町予算繰越計算書 上水道事業会計において建設改良費の繰り越しとして上渋井地内配水管布設替事業を、下水道事業会計において建設改良費の繰り越しとして汚水処理計画検討業務委託事業を、それぞれ計上することを議会へ報告するもの。	報告
No.13	報告第3号	法人の経営状況【白河地方土地開発公社】 白河地方土地開発公社の令和6事業年度経営状況を議会へ報告するもの。	報告
No.14	報告第4号	法人の経営状況【株式会社埴町振興公社】 株式会社埴町振興公社の令和6年度経営状況を議会へ報告するもの。	報告
No.15	同意第2号	教育委員会委員の任命 任期満了による教育委員会1名の任命(再任)について、議会の同意を求めるもの。 任期は令和7年7月1日から4年間。	同意



かなざわ 金澤 議員
たろう 太郎 議員

教育の機会均等



個人QRコード

高校生の交通費補助の考えは できるなら前向きに考えたい

質問

答弁

質問 当町から工業系の高校に進学した高校生に、県による交通費補助は開始されたか。
答弁 令和5年度より開始。ただし、白河実業高校工業課限定で、統合校の開校前年度に中学生だった生徒だけが対象。令和9年度まで。
公共交通機関の通学定期が6か月で3万円を超える場合、超えた額の2分の1を補助。下宿費支援の制度も準備されている。

質問 借り上げバスでの通学費は補助対象になるのか。
答弁 借り上げバスは通学費補助対象外。
質問 町在住高校生への交通費補助はできないか。
答弁 県の補助対象以外の学校も含め、町独自の補助制度について検討中。
質問 県同様月額5千円を超える部分を補助する方向で検討して欲しい。
答弁 補助額については様々な情報を収集中であり、実施と合わせ今後検討していく。



質問 塙町の奨学金制度の額の見直し、塙工業高校奨学金で設定された返還免除を拡大できないか。
答弁 町の奨学金について活用条件、返済要件、額などについて検討していきたい。

合併処理浄化槽を町の処理施設とできないか
大型施設の管理難しい場合は検討すべき

質問 下水処理施設にかかる維持費用を改めて伺う。
答弁 公共下水道、農業集落排水で営業費用中、維持費用は令和5年度9614万円、令和6年度1億364万円となる。

質問 新規に大型処理施設を導入する考えはあるか。
答弁 既存以外では町内3地区に計画が残る。人口減少の中、計画実施に至っておらず、当該地区でも、補助金活用による合併処理浄化槽の設置普及を進めて頂いている。

質問 合併浄化槽を下水処理施設としている市町村の、運用費用は。
答弁 白河市が下水処理施設未整備地区限定で、合併処理浄化槽を公費設置している。基本的な導入時費用は無

料。4人家族モデルで年間使用料は43,398円程度。
質問 将来的に合併処理浄化槽を町の下水処理施設としていく考えは。
答弁 市町村設置型合併浄化槽導入で、合併処理浄化槽への転換促進、計画的な浄化槽整備、浄化槽設置における個人負担の軽減など効果が期待できる。一方、町管理財産が増え、管理事務負担、人員配置や財源の確保、公共下水道や農業集落排水の使用料との均衡と事業運営に当たっては検討事項や課題もある。今後、大型の処理施設の維持管理が難しくなっていく場合には、大いに検討すべき案と思う。

質問

答弁

町民の声、意見・提案を

考え、検討、進める

質問 40代男性…塙町には、EVの充電施設がない、時代とともに必要なもの、観光客を増やすにも重要だと思う、設置の予定はあるのか。
答弁 EV充電スタンドは、大変高価なものでもある。導入に当たっては国の補助を模索するなどランニングコスト、費用対効果を検討して進めていく。

質問 50代女性…一般家庭の貯水タンク（雨水タンク）の設置の補助金は、出してもらえないのか。
答弁 今現在は、助成金の予定はないが、災害時緊急用水に期待されると思うので、調査検討をしていく。（福島県は、郡山市、本宮市、いわき市で、補助が3分の2とされている。）

質問 30代男性…消防屯所に、IP電話、Wi-Fiの設置はできないか。
答弁 IP電話…団員が屯所にいる頻度を考え消防団のニーズ、設置維持管理費用など含め検討。Wi-Fi…携帯の電波が入らない場所などであれば、設置費用などを含め検討が必要かと考える。



個人QRコード

ほりえ ゆうじ 堀江 祐司 議員

One more step forward
～もう一歩前へ～

質問 30代男性…地元企業に務めているが、これから先の人手不足を懸念している。将来的に地元企業は危機的

状況が考えられる、町は何か考えてくれているのか。
答弁 操業継続は必要。町内の企業と意見交換会を実施している。雇用拡大奨励補助金など出し企業支援。様々な情報発信などもしていく。

質問 10代男性…中学校の通学路の危険箇所、（町道上町線の一部、釜藤交差点の水溜り）事故が起きてしまっっては、遅いと思う。いつ工事をして安全な道路にしてくれるのか。
答弁 町道上町線は、R6年度から工事の為に用地取得を進めている。R5年に狹隘道路整備事業で測量済（工事予算1億5千万円くらい）。釜藤交差点の水溜り、県道の為、改善に向け県に働きかけていく。

質問 30代女性…歴史の探究をしている、まだまだ知られていない

？チャットGPTとは
AIを活用し、人間のような自然な会話が可能になるサービス。



町道上町線



よしだ かつのり 議員 吉田 克則

議会 は 行政活動の
監視とチェックだ！



個人QRコード

教育に関する問題課題は

教育委員会に報告、解決

質問 教育に関する諸問題や課題解消はどの様に整理され解決しているのか。

答弁 各学校等で内容の整理をして教育委員会にも報告をさせている。課題解消は学校等で解決出来る案件については各学校で対応し結果についても教育委員会に報告させている。また、各学校で解決が困難な案件につきましては、教育長及び学校教育課内でも解決方法について検討し必要があれば県南教育事務

所、児童相談所、警察署等の関係機関にも情報提供し協力をいただき課題の解決を図っている。

質問 教育指導主事配置の考え方は。

答弁 指導主事の業務は教育委員会事務局組織規約において学校における教育課程学習指導その他学校教育に関する専門的事項の指導に関する事務に従事すると規定している。しかし、現在町教育委員会に指導主事は不在の状態である。

教育委員会としても指導主事配置は必要であると認識している。

質問 向ヶ丘公園整備事業と検証は。

答弁 事業の主な目的は、県指定さくらの保全保護である。整備の内容は樹木の根の張りに影響を及ぼす可能性があり、また、倒壊する恐れがあった石碑等を駐車場へ移設する工事。



桜木町向ヶ丘公園の江戸時代に建てられた誕生塚

不動産相続登記義務化は 相続登記チラシ同封周知

質問 不動産相続登記義務化に関する町の対応は。

答弁 相続登記義務化は国が進めているものである。背景について

る町の対応は法務局の依頼に基づき死亡届があったとき、固定資産税納税通知書を発付するときに相続登記のチラシを同封してお知らせしている。相続セミナー、相談会を開催した。

質問 山林荒廃が進行している現状と町の対策は。

答弁 森林経営管理制度活用は県南地区管内でも進んでいる自治体と自負している。今後も森林経営管理制度を活用してしっかりと対応していきたい。

質問 森林アドバイザーを町に再度置く考えはあるのか。

答弁 森林経営管理制度も職員の中で出来るので地域林政アドバイザーを置く考えは無い。

山林荒廃進行、対策は

森林経営管理制度活用

質問

埴放課後児童クラブ 受け入れ制限は

答弁

支援員が足りない

質問 埴放課後児童クラブ5、6年生受け入れ中止の理由について

答弁 令和7年度申し込み児童は147名。基準児童数、基準床面積ともに越えており、支援員の人数も足りない。また、家庭事情による選別はできない。

質問 今後、埴町における放課後児童クラブを維持していくために埴、笹原両児童クラブを合同としては。

答弁 希望児童数、支援員数の条件により検討していく。



個人QRコード



きくち てつや 議員 菊地 哲也

10年後の町は



子どもたちが集まった木育キャラバン

令和7年度の出産予定数は

大きく減少する見込み

質問 埴町妊婦にやさしい遠方出産支援事業については。

答弁 埴厚生病院産科休止に伴い、妊婦の体調管理や台風、大雪に備えて前もって白河、郡山の病院近くに宿泊できる事業。

質問 令和7年度の出産予定数は。

答弁 25名前後、昨年度は35名。大きく減少する見込み。

旧埴工高跡地利用は

更地にして利用を考えていきたい

質問 旧埴工高跡地の利用計画は。

答弁 県が無償で校舎等を取り壊し更地にしてくれるのでその方向で進めていきたい。

質問 旧埴工高跡地への仮称「埴工高線」の整備計画は。

答弁 振興計画には入っているがどこという具体的な計画にはまだなっていない。

地元企業の要望は

労働力不足対策

質問 1月24日に行われた埴町内企業意見交換会で出された意見、要望は。

答弁 33社に案内を出して16社が参加。地元企業は雇用の創出、税収の増加、地域消費の強化など大変重要であり更に連携を強めていくべき。働き手不足に関する意見が最も多か

質問 町として考えている対策は。

答弁 地元企業に一定期間実際に働きな

業務内容を体験できる「お試し就労制度」、白河産業サポートセンターと連携、高校生の地元企業へのアルバイトや就労体験を通して地元企業の認知度アッ

プ、中学生の職場体験学習の受け入れ態勢の整備、外国人技能実習生への生活支援、実習生と地域とのつながりと理解を深める体制づくり、などの施策を進めていく。

質問 今後のスケジュールは。

答弁 年に3回ほど開催し地元企業と連携を深めていきたい。



あの質問はどうなったのか？

議員の一般質問の中からピックアップし、その動き・現在の状況を調査します。

災害対策のためにヘリポートの設置を (令和6年12月定例会)

広域4町村の中心的機能として、令和7年3月に閉校する旧埴工業高校跡地に、ヘリポートの設置を。

答弁

一つの計画の中に盛り込む

場所的に水、山、含め災害などは問題ないと思う。
全体を考えると計画の一つとして盛り込んでいければと。

その後

閉校跡地は、更地として、町へ譲渡

令和5年12月18日に制度化され県立高校改革による空き校舎や土地、建物を県より譲渡。条件はあるが、5年間で最大3億円の補助がある。

是非、今後の計画の中でヘリポートの設置計画も盛り込んで頂きたい。



子育て若者定住促進住宅団地整備事業の内容は (平成29年12月定例会)

この事業の内容と土地取得や建築に係る助成が必要なのは。

答弁

町存続のため重要な取り組みである 「さくらタウン末広」として分譲する

住むための土地を供給することは、人口減少の対策にもなり、これからの埴町存続のため大変重要なものと考えている。様々な助成も計画していく。

その後

令和4年全22区画分譲完了

事業費は約1億9千万円（工事費、土地購入費、上下水道分担金等）、土地購入助成金は15歳以下の子どもがいる世帯や40歳以下の世帯等で100万円以内、住宅建築助成金は町外からの移住、小学生以下の子どもの同居する世帯等条件により最大230万円であった。分譲状況は子育て世帯15件、町内15件、町外7件となり、移住定住には成果があったと思われる。

なお、令和4年度の小学校の入学者数は郡内一だった。



質問

町の防災力は

答弁

災害対応や防災の意識の向上に努めている

質問 災害時に備えるのに、町民参加型の防災訓練や、防災意識を高める町のハザードマップを活用した、親子で学ぶ防災など、できる事を1つ1つ段階的に実施する事を提案するが。

答弁 今のところは考えていないが、県の総合防災訓練や県南地方総合防災訓練等、埴町が会場となった場合には、しっかりと取り組んでいく。

質問 台風19号で大きな被害を受け、その後



台風19号災害



重機研修

の片づけで出た災害ゴミの集積場を、第三の居場所「はなまるハウス」完成前の広場に置かれた。近年、空地も増えているが、屋外避難所や災害ゴミの集積場としても使える、多目的広場や公園づくりを進める考えは。

答弁 現在、災害廃棄物処理計画を策定中であり、特に大字埴町内における大雨等の災害時の屋外避難所、災害ゴミ置き場は必要不可欠である認識している。

質問 町内に限らず、郡内・県南地域の消防団を始め、防災士を目指すボランティアの人々にも、重機等を扱う東白川郡防災トレーニングセンターとして位置づけでは。

答弁 現時点では、郡内・県内の訓練施設とする考えはありませんが、今後とも検討していく。

町内の道路状況について

優先順位をつけながら着実に実施していきたい

質問 片貝、那倉地域に住む町民の緊急事態に備え、時間短縮を図る目標を掲げ、15分程度で役場や厚生病院に到着できる道路整備の考えは。

答弁 安心して早く移動できることは、救急搬送や火災などの災害の早期対応にも必要なものであるという考えは十分理解している。

質問 以前、新聞に県内市町村のふるさと納税実績ランキングが載り、埴町のランキングは決して良い順位ではなかった。その後、様々な取り組みと発信を図り、実績向上を図っているが、魅力ある返礼品づくりの打開策は。

答弁 他の自治体との差別化を図れるような新たな返礼品の開発・開拓などを行ない、取り組みを強化していく。

質問 マンガふるさとの人でも紹介されている、白石禎美氏からの土地の提供を始め、多くの卒業生を輩出した学舎であり、跡地の一部に県立埴工業高

答弁 県と協議しながら何らかの形で整備を検討していく。



ななみや ひろき
七宮 広樹議員



個人QRコード

大災害は定れない
頃にやってくる

一般質問

県立白河実業高等学校 埴校舎跡地活用は

公園にした場合
申し分ないと感じている

ふるさと納税の打開策は

取り組みを強化していく

所管事務調査レポート

総務常任委員会

学校給食の現状について

- ・調査日 令和7年4月23日(水)
- ・場所 埴町学校給食センター
- ・出席委員 菊地哲也委員長
ほか委員

(計7名)

・調査のまとめ
給食センターは平成27年に新しく建設され、センター内は整理整頓されとても清潔に保たれ、衛生管理体制も整っている。食材は地元業者をはじめ近隣市町村、公益財団法人福島県学校給食会から購入している。調理業務は株式会社メフォス、配送業務は吉成運送に委託している。現在、アレルギーを持つ児童は8名、牛乳不使用児童は3名。代替、除去食で対応し、弁当対応、牛乳不使用児童には補助金を出している。食べ残しは月平均20kgで主食が半分を占め、年々減少している。令和2年度より給食無償化となっており、給食費用は令和5年度に幼



稚園生1食277円、小学生1食293円、中学生1食343円に改定されたが、食材等高騰により給食費用の維持は大変厳しいと思われる。
栄養士さんからの「行事食などを通して食事を楽しんでもらいたい。」という思いを聞き、子供たちの笑顔を想像しとても和む気持ちになった。

明るく元気な 活気あふれる町に



いしかわ すみこ
石川 澄子さん(栄町)

―傍聴したきっかけは
商工会女性部の活動の一つとして傍聴しました。
個人ではなかなか行くにくいところもありましたが、今回はよい機会でした。
―傍聴した感想は
今までは議会、だよりを通しての認識でしたが、

議員の方々の質問、行政の方々の答弁、議論の進み方など実際の様子は大変興味深く勉強になりました。
―議会に対する意見や要望
議員の皆様には町民の声、疑問や要望をできるだけたくさん議会に届けていただき、明るく元気な町になるよう、お願いいたします。

―町に対する意見や要望
子育て世代の方々とお話する機会がありました。
平日ですと、保育園や幼稚園、子育てサロン、はなまるはうす、放課後児童クラブと子どもたち

の居場所は充実していますが、土日となると、埴町には子どもの遊び場、親子・家族・友達と過ごす場所が少ないのではないかとこの声がありました。
土日に使える屋内遊び場、大型遊具の公園、高齢者の方が安心してウォーキングや体を動かすことができ、子どもたちがのびのびと遊び、町民の方々が集えるような場所があったら、明るく元気な活気あふれる埴町になるのではないかと思います。

経済常任委員会

デマンド交通の状況と今後の取り組みについて

- ・調査日 令和7年5月9日(金)
- ・場所 委員会室
- ・出席委員 鈴木元久委員長
ほか委員(計6名)



・調査のまとめ

令和6年度に田代区において行われた小規模需要対応交通(デマンド交通)の実証実験の結果を確認し、今年度の実証実験と今後の展望を調査した。

デマンド交通の条件は、自宅と大字埴地区の区間移動にのみ運行を限定し、無料で実施された。車を役場の軽自動車を使用することで、個人宅までの送迎

を可能とし、運行はシルバー人材センターに委託し実施された。昨年度7月から5か月間実施し、週2回運行で、対象区民55名中3割の区民が利用した。運行区間では、埴厚生病院が53.8%、埴駅23%、以下役場、郵便局、商店街、道の駅の順となった。費用は総額で235,703円で、無償のため利用者に好評で、有益な結果が出たと説明を受けた。

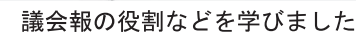
今年度予定は、対象を5地区に拡大して実施される。対象は原則60歳以上、運航日は月曜日から金曜日の週5日運行とし、1日4便、時間は午前8時30分から午後4時30分、公用車の軽自動車2台を活用し、予約受付運行管理はシルバー人材センターに委託し、予算は280万円を予定している。

対象地区と運行日を拡大することで、対象人数によつては収拾がつかなくなる恐れがあることも想定しており、利用状況を確認しながら、運行車両、回数を見直すなど、運用しながら検討していく報告も受けた。今後は公共交通企業との協議を踏まえ、輸送効率を高め、本格実行の実現に期待したい。

読まれる紙面・内容の充実に向けて

町村議会広報研修会に参加

福島県町村議会議長会主催の町村議会広報研修会が7月1日(火)、ビックパレットふくしま(郡山市)で行われ、広報常任委員6名が参加しました。講義および9町村の議会報クリニックがあり、はなわ議会日より169号もクリニックを受け、良い点・改善点などを指摘していただきました。今後も町民視点の紙面づくりを目指し、議会広報紙の役割を果たしていきます。



ともっと時代にあった内容を行っても良いと思う。
 「湯遊ランドはなわ」設置条例の一部改正に属するかどうかはわかりませんが、ランドも最近
 は色々なイベントを催しておりますが、町民にと
 って縁遠いものばかりで、何を考えているの
 か、他県の方を取り込むのも解るがもう少し町
 民に寄り添えないものかと思います。
 埴厚生病院の分娩休止については、埴町をふく
 め周辺市町村で早急に対策していくべき問題だ
 と思う。
 反問権というものがあるのか！と新たな発見で
 した。分かりやすく How to が有り、良かった
 です！
 ①その他
 他市町村では、子ども議会などを行っている行
 政もあります。子どもたちの興味関心の向上に、
 見学やそういった取り組みも有りなのではと感
 じました。

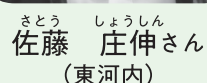
- ## 議会活動出欠状況

令和7年4月1日～令和7年6月30日

年月日	会 議 名 称	堀江祐司	金澤太郎	菊地哲也	鈴木元久	吉村守広	七宮広樹	吉田広明	青砥與藏	吉田克則	小林達信	藤田一男	下重義人	鈴木孝則
委 員 会														
7.4. 4	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
7.4.10	広報常任委員会(議会だより編集)	○	○	○	その他	○	-	○	-	-	-	-	-	-
7.4.23	総務常任委員会(所管事務調査)	○	-	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	○
7.4.23	埴町議会基本条例検証調査特別委員会(調査報告書のまとめ)	○	-	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	○
7.5. 9	経済常任委員会(所管事務調査)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-
7.6. 3	議会運営委員会(6月定例会運営)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
7.6.11	総務常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	-	○	-	○	-	-	○	○	-	○	-	○
7.6.11	経済常任委員会(閉会中審査内容決定)	-	○	-	○	-	○	○	-	-	○	-	○	-
7.6.11	広報常任委員会(閉会中審査内容決定)	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
7.6.13	議会運営委員会(追加議案)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
7.6.13	議会運営委員会(6月定例会検証)	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	○	○
定 例 会 ・ 臨 時 会														
7.6.11	6月定例会(1日目: 議案説明)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.6.12	6月定例会(2日目: 一般質問・特別委員会報告)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.6.13	6月定例会(最終日: 議案審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
全 員 協 議 会														
7.6.11	全員協議会(特別委員会報告について)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7.6.13	全員協議会(追加議案)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
研 修 会 ・ そ の 他														
7.6.25～27	総務および経済常任委員会合同行政視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	その他	私用	○	○	○

議員は会議に出席する義務があり、正当な理由がなく欠席すると罰せられることがあります。議会では欠席の正当な理由として、配偶者・親族の葬儀（忌引）、病気・けが（傷病）、突発的事故（事故）、その他議長が認める場合です。表ではそれぞれ、忌引、傷病、事故、その他と表記し、それ以外の正当な理由外の欠席の場合は私用と表記しました。

委嘱されたモニターさん2人に議会だよりについてご意見をいただきました。



沢山の課題に、十分な議論を

自分と他人。皆さんはどちらを大切にしていますか？自分がどうしたいか、どうありたいかを大切にする「**自分軸**」。相手がどう思うか、相手からどう見られるかを大切にする「**他人軸**」。「**他人軸**」に強く引つ張られると自分の

これは議員の方々にも言うることなのかなと思います。町民それぞれの考え方や行政の考え方ももちろん大事ですが、議員個人の想いや主張とのバランスをとりながら、私たちの生活を良いものにしていていただきたいです。

主張は薄れ、本当に成し遂げ
たかった目標や目的、幸せ、
自己肯定感は二の次になり、
人生に疑念が生まれてしまひ
ます。軸のバランスを取るこ
とが、生活していくなかでと
ても重要だと感じています。

議会だよりを読んでいつも思うことは、町には沢山の課題があつて、多くの議論がなされ予算が執行されているのだと感じています。人口減少に使う日本。埴町が同じ轍を踏むことのないよう、議会だよりが、町政と私たちの橋渡しの一助であることを期待しています。

が止まることなく、経済規模が縮小を続ける町で、どのよう
に町を継承していくのか、意見
を偏らせることなく十分に議論
を戦わせ、予算を使つてほしい
と思います。予算の3分の1を
借金の返済のため

皆さんの団体やサークルに広報常任委員が伺います。

団体の名称：花の里川上
活動場所：川上4区地域
会 員：27名
指導者：石井 均 TEL 43-3655

「未来に繋げるプロジェクト」

荒廃農地を整備し地域の風景を守りたいとの思いから、有志が草刈りを始めました。平成26年に団体設立、5haの面積に「無理をしない活動」として、年間述べ100人の自主的作業人数を維持し、ソメイヨシノ、ボタンサクラ、オオヤマサクラ、芝桜、コブシ、ツツジ、サルスベリ、ムクゲ、紫陽花、レンギョウ、サツキ、山ツツジ、コウバイ、サンシュウなど700本を植樹してきました。その他、畑に花を植えたりしながら、鮮やかな花木で彩どられる里山になっています。先人が残した土地を後世に引き継ぐ活動をしている有志の団体で、町の魅力ある観光資源の財産として残す壮大な取り組みです。



編集後記

皆様、いかがお過ごしでしょうか。

1月の臨時会で可決されました、「埴町エール商品券」が、お手元に行き届き買い物等、楽しめるなど生活の一部に役立っていればとても幸いです。期限があるので有効活用をしてください。

また、私も議員になり広報の作成に携わらせていただき1年が経過いたしました。これからも、見やすく、わかりやすく関心を持っていただけるような、町民と議会をつなぐコミュニケーション誌を作成し、議会への興味も深めて頂きたいと思っています。ふと思った意見・感想も気兼ねなくお寄せください。

堀江 祐司

あなたも議会の傍聴してみませんか

令和7年9月定例会は
9月10日(水)からの予定です。

場所 役場2階 議場

詳しい日程は、議会運営委員会で決定後にホームページ等でお知らせします。



広報常任委員会

委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
堀江 祐司	金澤 太郎	菊地 哲也	鈴木 元久	吉村 守広	吉田 広明